

令和7年度 やまもとLMOまちづくり委員会 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・初年度に続き、山本小学校区での認知度を高めることが出来た。
・地域課題のうち、安全・安心を解決するため、防犯・防災・イベント・ICT事業を実施した。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	青色回転灯パトロール	(6)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月	
(2) 実施場所	山本学区	
(3) 参加者数	460 人（見込み） ※5回／週、2名／回	
(4) 主催団体	団体名 山本学区防犯組合、他連携団体	
4 取組内容	リース車両を準備して、防犯パトロールエリアや登下校時の見守体制を強化・拡大させる。そのため、①パトロール協力者を地域（主として連携各団体）から募集し、警察が行う安全推進員の講習を受講させ人員を確保する。②青色回転灯を設置したパトロール専用車をリースして、協力者を当番制に割り当て小学児童の下校時（15時～17時）に地域内を巡回し見守る。	
5 目的・効果	（事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。） (1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ① 青色回転灯を装備したパトロール専用の車をリースし、巡回協力者を地域住民から広く募集して、パトロール実施者の資格を取得させ割り当てにより週5回程度に巡回回数を増やすことで、子どもたちや地域住民が安全・安心に暮らせるまちづくりにつなげる。（2期目） ② パトロールカーに搭載しているスピーカーから安全を促す音源を事務局が提供しているが、もっと興味を抱かせるような音源を作成したい。広島経済大学のFMハムスターに音源の提供を依頼する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） パトロール隊員30名、パトロール週5日活動中。パトロール中に流す音源は広島経済大学FMハムスター方で作成。地域住民からは「ありがとう」の声を沢山いただいた。 子ども達も“防犯について”認識を新たにしてくれている。	

1 事業名	8.20 やまもといのちをつなぐ集い	(6)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(5) 実施期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月 (8月19日、20日開催)	
(6) 実施場所	山本集会所	
(7) 参加者数	100 人	
(8) 主催団体	団体名 やまもとLMOまちづくり委員会、他連携団体	
4 取組内容	・ 当地区における過去の災害を明文化した、小冊子を作成する。 ・ 小冊子を地域住民に配布する。 ・ 哀悼の意を表し、「やまもといのちをつなぐ集い」を行う。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 過去多数の災害があり、犠牲者が出たことを地域の人たち知らしめ、風化させないこと。 ・ 地域住民の防災意識を高揚させる。 ・ それらの人たちを追悼すること (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 防災意識が高まり、効果的な避難や早期避難が行われるようになる。 ・ 事前の災害への備えが行われるようになる。 ・ 見学に来られたメディアが多くあった（RCC、ホームテレビ、読売新聞、中国新聞）。 ・ スタッフ協力を山本学区以外の多数の方から頂いた。 ・ 学区を飛び越えた協力体制が出来た。		

1 事業名	敬老フェスティバル	(6)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(9) 実施期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月	
(10) 実施場所	山本小学校及び体育館	
(11) 参加者数	2000 人 ※スタッフは約100名、出演者70名	
(12) 主催団体	団体名 敬老フェスティバル実行委員会、他連携団体	
4 取組内容	敬老フェスティバル目次 10:00～10:15 開会式、 10:15～11:50 各種演技(5団体が出演)して 「①西山本神楽保存会、②シニアコーラス山本、③山本幼稚園(園児による歌唱)、 ④山本小学校(5年生ソーラン節)、⑤山本男声合唱団(高齢者の表現豊かな団塊世代に好評)、 11:50～閉会式	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 長寿に対する祝意と敬意を表す敬老フェスティバルを開催し、顔なじみの関係を築き、交流を深めることを目的とする。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 暑い夏の時期から秋に開催日を変更した効果で、多数の方が参加され大盛況であった。 同日行われたやまもとふれあい祭りにも孫や家族と一緒に積極的に参加され、飲食含めてお祭りを楽しむ姿が多数見られた。山本学区の取組状況なども知ってもらったことも有効であった。次回の課題(移動手段、地域の駐車場)も確認でき、対策も明確になったことは大変有効であった。		

1 事業名	盆踊り大会	(6)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年8月 ~ 令和7年8月	
(2) 実施場所	山本小学校のグラウンド及び体育館	
(3) 参加者数	1000 人	
(4) 主催団体	団体名 盆踊り実行委員会、他連携団体	
4 取組内容	(1) 設備の更新 ①老朽化した櫓（木材）から足場用鉄パイプの櫓に替える。（専門業者に外注する） ②提灯、照明器具、配線を新調する。（配置、数量を再検討する） (2) 踊りへの参加者を増やす（運動会などで幼稚園、小学校の協力をお願いする） ①伝統の「きそん音頭」を幼稚園、小学校の運動会で取り上げてもらい盆踊りで実践する	
5 目的・効果	（事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。）	
(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 毎年、真夏日の中での準備、後片付けの負担が大きく、できるだけ本番以外の負担を少なくして、本番となる夜への参加を促したい。また、参加者全員（特に、こどもと親御さんが、踊りの輪に気軽に参加できるように運動会などで踊りを習得してもらおう。（2期目）（幼稚園、小学校に協力をお願いする） (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 櫓は専門業者に外注したので、盆踊りに携わるスタッフの安全や作業労力が軽減されている。提灯、照明器具、配線の新調については、予算不足により検討課題とした。 踊りの参加者を増やす件は、櫓を中心に踊りをおどる練習回数を増やした。（山本集会所で10回、幼稚園での実践練習、など）。田子ノ浦部屋力士の飛び入り参加もあり、地域コミュニケーションも広がり会場全体が大変盛り上がった。		

1 事業名	みんなのまちの掲示板制作	(6) 事業中 (5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月 ~ 令和8年3月	
(2) 実施場所	山本学区内	
(3) 参加者数	120 人 ※1会／月、10名／回、1年	
(4) 主催団体	団体名 やまもとLMOまちづくり委員会、他連携団体	
4 取組内容	町中から情報を収集し、モニターを拠点に設置して、みんなが見れるまちの電子掲示板を開設する。個人はスマートフォンやパソコンから同じ情報を閲覧でき、コンテンツの収集・作成・掲示などの作業を地域住民主体でできるように、ICT 関係の講師を招聘して住民向けの講習会を実施する。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 山本学区は自治会加入世帯の減少や解散、社協をはじめ、構成団体において、高齢化の傾向がみられ、これからの「まちづくり」の課題になっている。 電子掲示板を作ることで、地域住民（チーム）による、情報収集・コンテンツ作成・投稿となるので住民の方々との交流が図れるようになる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 今期は、ICT リテラシー向上を目指しスマートフォン教室を実施した。AI を使ってチラシを作成した。地域の事業者との連携を強化し電子連携が取れる体制を強化した。山本集会所に電子掲示板のモニターを設置し、山本集会所を利用する方々に見てもらい、掲示板のイメージが沸く環境を作成した。ホームページ・インスタグラムの投稿回数を増やした。 Zoom を使ったのオンライン配信を百歳体操以外にも広げ、配信回数を増やした。		

1 事業名	つながり交流	(6) 事業中 (6) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月	
(2) 実施場所	山本学区内（山本小学校、山本集会所、丸子集会所、平山神社境内）	
(3) 参加者数	400 人	
(4) 主催団体	団体名 やまもと LMO まちづくり委員会、他連携団体	
4 取組内容	三世代交流、伝統文化の継承と顔見知りの関係を築く取り組みとして、住民参加型の教室や講座など、山本学区の地域住民が気軽に参加できる交流の場を提供する。(①～④) 山本学区の取組等の情報発信をおこなうために、LMO 広報誌を発行する。(⑤) ①音楽教室を開く②神楽伝承用教室を開く③ワイワイ交流サロンを開く ④相撲を通じた文化活動教室を開く⑤エルモ通信を作成する	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） イベントや行事などコロナ禍が明けたとはいえ、コロナ前のような地域住民の交流の機会は減っている。山本学区では、小さな講座や教室を定期的かつ随時開催することで、年間を通じて三世代に渡る地域住民が集い・学び・考える、コミュニケーションが図れる交流の場を設ける。またそうした取組を広く地域住民に周知するための情報発信を行う。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ① 歌を歌いながら触ってみたい楽器に触ることができる教室を開いた ② 神楽伝承用と記録用のビデオを作成し伝承可能な環境を作った ③ 地域作成のスマホアプリを使って初心者向けのスマホ教室を開いた ④ 相撲部屋の土俵造りの文化・歴史・ノウハウを学ぶ教室を開いた ⑤ 地域への情報広報としてやまもと LMO 通信を作成・配布した (3,000 枚×3 回)		